

ピロリ菌検査の助成を

山下 秀則 議員

答 住民健診として実施するよう検討する

昨年度、健康と食育の祭典で胃がんリスク検査を行った。今後は、イベント等で実施を継続していく中でそこから見えてくる課題を踏まえ、住民健診として実施できるか検討を行っていきたい。

「もったいない」運動を推進し

食品ロス削減を

問 家庭内の食品在庫の適切な管理や有効活用をはじめ、飲食店で残さず食べる運動や持ち帰り運

問の展開など、市民、事業者が一体となった食品ロス削減に向けて取り組みを進めることが大事と思うが、30・10運動(※)推進と併せて問う。

市長 「もったいない」を大事にして、30・10運動や食品ロスをなくす運動を食育の中で取り組むことを検討していく。

※30・10運動とは、懇親会等での食べ残し削減のため、開始後30分と終了前10分は離席せずに食事を楽しむ運動。

問 ピロリ菌は胃がんの原因になると医学的に言われている。胃がんのリスクを下げるため、ピロリ菌の検査を市が助成すべきと思う。

これまでの市の取り組みと今後の考えを問う。

市長 胃がんを発症した人の多くは、ピロリ菌陽性者であるとの報告もある。ピロリ菌除菌により胃がん発症が抑えられていることへの認識は持っている。



ピロリ菌検査で胃がんのリスク軽減を

給食費公会計化と無償化の考えは

馬場 政英 議員

問 学校ごとに行っている給食費の私会計から、市で一括管理する公会計に移行する自治体が増えているが、筑後市の認識と取り組みは。

問 いつまでに方針を決めるのか。

教育委員会次長 今年度中には具体的にまとめ、庁内で協議したい。

問 子育て支援の観点から、給食費無償化の考えはあるか。

市長 やりたい気持ちはあるが、市の財政状況を

教育長 公会計化へ移行する必要がある。先進地の視察をして、人員や経費等、具体的に調査する。

あるが、市の財政状況を

答 公会計化は今年度中に検討

無償化はできない

みると踏み切れない。保護者の責任もあるので、市があればこれも無償化するのはよくない。

筑後市奨学金の現状と今後の展開は

問 給付型制度の筑後市奨学金の現状は。

教育長 平成26年度までは1学年13人であったが、昨年度からは支給額が月額9000円から1万円となり、さらに特別奨学金として3人、月額1万5000円が新設される。

問 少額寄附の対応や募金箱の設置など奨学金事業拡大へのPRは。

市長 広く市民の善意を奨学会へという提案は理事会で検討する。

中学3年生の保護者の方へ

平成29年度筑後市奨学会奨学生募集のご案内
(一般奨学生・特別奨学生)

筑後市奨学会では、平成29年3月に筑後市内の中学校を卒業する生徒を対象に、一般奨学生および特別奨学生を募集いたします。

募集内容をご確認の上、奨学金の給付を希望される方は、担任の先生に申し出られて、事業を希望し、中学校が指定する日までに提出してください。

なお、奨学金の給付対象となる生徒は、下記の(1)～(4)をすべて満たす者となります。

- (1) 筑後市内に1年以上居住
- (2) 筑後市内の中学校卒業生
- (3) 国公立の高等学校および高等専門学校へ進学する者
- (4) 他の奨学金をいっさい受けていない者

一般奨学金

○目 的： 進学費用が足りなから経済的理由により学費の支弁が困難であると認められる者に対し、学費の給付を行うことにより、将来有能な人材を育成することを目的とする。

○給付人員： 市内全体で15名

○給付金額： 月額10,000円 (3年間給付、返還の必要なし)

○応募要件： ・学業成績が平均3.5以上で、家庭の経済的事情で学費に恵まれない者
・特別奨学金に在籍し、家庭の経済的事情で学費に恵まれない者

○選考方法： 学業成績と家庭の経済状況により選考する。

○提出期限： 平成29年度筑後市奨学会一般奨学生 募集

(募集へ続きます。)

筑後市奨学会奨学生募集の案内